

## CSR活動を通じて社会や環境と共存し、 ステークホルダーからの信頼を獲得

同社は本業を通して企業の社会的責任をはたすことをモットーにしている。包装紙材を扱う企業として、環境に配慮した生産を行っている。具体的には、ロス材の減少、リサイクルを考えた生産を行い、環境への配慮を怠らない生産体制を構築している。それにより、地球環境との調和を図ることを目指している。そして、新しい機械の導入が、生産性の向上をはたすとともに働きやすい環境をつくり、豊かな価値を創造することで、よりよい社会作りにも貢献している。

所在地 埼玉県川口市幸町1-9-17  
 電話/FAX 048-252-4734 / 048-256-4030  
 URL <http://www.wakosiki.co.jp/>  
 代表者 代表取締役 本橋 志郎

設立 1962年  
 資本金 3,000万円  
 従業員数 82人



### 環境配慮を考えた社内一貫生産による包装資材ロス材を活かすものづくり

包装資材を中心に「無駄（材料・時間・場所）を出さないモノづくり」を念頭に工場を作りあげている。発泡緩衝材の製造過程で発生するロス材は減容しリサイクル材へ、段ボール加工のロス材は古紙へ。また包装資材で使われるプラスチック製トレーは、金型、材料シート、トレー成形まで一貫生産しており、発生するロス材は全て粉碎し再利用している。リサイクル材のみで行う押出成形や真空成形は不安定要素が多く、難度が高いが、妥協のない情熱を持ったエンジニア達が製造技術を確立し安定した生産を行っている。



金型—シートトレー成形まで社内一貫生産

### 製造部門の生産性向上への取組

生産の効率化を目的に、国産設備の導入を進めながら、製造プロセスの見直しにも取り組んでいる。具体的には①製造プロセス改善のため、従来、手動トリムが必要となる難易度の高い商品も自動トリムで製造できるよう設備導入を進め、生産性の向上を図っている。②生産タクト改善への取組としては、同社の製造に適するように機械の改造を進めている。③生産管理の効率化のために基幹業務を見直し、生産計画、見込生産を見える化し、機械の稼働率改善に取り組んでいる。④製造技術者の多能工化を推進している。



生産性向上とリサイクル構築

### 環境に配慮し、資源の有効活用を考えたモノづくりと包装設計

環境に配慮したモノづくり、資源の有効活用を考えたモノづくりを推進している。製造中に発生するロス材の再利用、商品使用後に廃棄するのではなく、リサイクル材料として買取が可能なシステムを構築している。また、包装資材を通じて環境に配慮した設計をお客様に提案している。主な例として、環境に配慮した包装資材の利用、繰返し利用可能な包装材の提案、輸送効率 UP、工場作業性 UP、梱包作業性 UP など、長年の経験により培ったノウハウと内部生産による安定感により、お客様からの信頼を勝ち得ている。



環境配慮型包装資材Polyecolene